

令和4年度 相馬市外部評価委員会 市事務事業の外部評価結果

【評価点】 8名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性（必要性）や効率性（有効性）などについて5点満点で評価したものの平均点数。	【A評価 14事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当 【B評価 5事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当 【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要 【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要	（評価点 4.0以上） （評価点 3.0～3.9） （評価点 2.0～2.9） （評価点 1.9以下）
---	---	--

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	防災備蓄倉庫の復旧と備蓄食料等の確保（令和4年3月16日地震災害からの復旧）	4.3	A	防災備蓄倉庫は、災害に備え常に使用できる状態にしておく必要があります。施設の重要性を鑑み、迅速な復旧がなされるよう努めてください。また、備蓄品の基本数量の確実な確保と充実、そして市民各自の備えに対する啓発もお願いします。併せて、停電時における市民のための携帯電話等の充電エリアの確保についての検討を望みます。
2	区長会等の意見集約（参画と協働を推進する仕組みづくり）	3.6	B	地域コミュニティは、区長の高齢化や固定化、担い手不足などの課題を抱えており、地域の課題がますます多様化・複雑化する中、その在り方を見直す必要があると思われます。区長会から集約した意見や、多様な意見を聴取できる手段を検討してください。また、行政区への加入率向上の取組や、将来を見据えた地域コミュニティの組織体制の見直しについても検討をお願いします。
3	行政のデジタル化の推進（適正な業務執行体制の確立）	4.0	A	社会全体がデジタル化する中、行政のデジタル化は避けては通れません。事業を速やかに推進し、市民の利便性向上に繋げてください。事業推進にあたっては、市民目線での利用しやすいものとなるよう心がけ、取り残される市民が生まれないような配慮をお願いします。また、継続的改善を図り完成度を高め、市民満足度の向上を目指してください。
4	マイナンバーカードの普及促進（適正な業務執行体制の確立）	3.5	B	マイナンバーカードの普及が進むことにより、何が良くなるかが市民にとって分かりにくいことが、普及を妨げている要因の一つと考えられます。誰にでも理解できるよう分かりやすく市民に広報し、今後活用される分野が増えていくにつれ、問い合わせの増加も予想されますので、丁寧な対応をお願いします。
5	市職員の資質向上（人材の育成）	4.0	A	質の高い行政サービスを提供していくうえで、人材育成は最重要課題の一つであります。人事評価制度を適切に運用し、人材育成に資するものとしてください。そのために、公平公正な評価ができるよう評価者のスキルアップに努めてください。また、期首・期末だけでなく、期中にも面談を実施し、目標達成に向けた進捗確認や適切なアドバイスを行ってください。併せて、知識取得のための研修を充実させ、市民サービスの向上に努めてください。
6	【現地視察】雨水排水対策（震災・水防対策の整備）	4.3	A	近年の水害の教訓を生かした対策が進められてきていますが、想定を超える災害は常にやってくるものと考えてください。災害発生時に速やかに稼働できるよう、日頃からの訓練・準備・整備をお願いします。一方で、運用に係る経費は大きなものになりますので、費用軽減策についての検討もしてください。
7	放課後児童クラブの充実強化（安心して子育てができる環境づくり）	4.1	A	放課後児童クラブは、子を持つ親の社会進出を実現するために重要な役割を担っています。希望者の要望に柔軟に対応できるように環境整備をお願いします。子どもたちが安心して過ごせる場所の提供はもとより、心身の成長を促すことができる場所となることを期待します。
8	確かな学力の育成	4.2	A	ICTやプログラミング教育等、子どもたちを取り巻く環境は変化しています。「読解力」「考える力」「書く力」といった基本的な能力を高め、環境変化に適應できる子どもを育てよう努めてください。また、学力向上のためには、教師の指導力向上が不可欠です。授業の質的改善という目標達成に向け、現状を評価するための適切なKPIを設定することを検討してください。
9	豊かな心の育成と生徒指導の充実	4.2	A	自分を見つめ他の人を想いやる気持ちを育む道徳教育は、学校での指導のみならず社会全体で共有すべき問題であり、地域の歴史文化や食文化、職業などを通じて地域との関わりを持つ機会を増やし、郷土愛を育むことを通じて豊かな心を育成してください。メンタルヘルス分野は、専門的な知識が必要であり教師の負担も大きいことから、カウンセラーや有資格者の確保といった必要な支援を行ってください。
10	若手狩猟者の育成及び狩猟従事者への支援（安全で安心な農作物の生産と供給）	3.8	B	猟友会の高齢化により、若手狩猟者の確保及び育成が課題となっています。各種勉強会や研修会の開催だけに留まらず、費用面の自己負担割合を低くしたり関心を高めたりするなど、従事者を広げるためのPR活動を行ってください。併せて、若手狩猟者のニーズを分析して必要な支援を行うなどの取組を推進するようお願いいたします。
11	相馬港の利用促進	3.6	B	企業のニーズ調査や発掘を行い、今後予想される社会環境の変化による相馬港の利用用途の変化も踏まえたうえで、中長期的な視点でどのような姿を目指すかを明確にするための議論を行い、事業を推進してください。
12	市民会館の利活用促進（芸術文化活動の促進）	4.0	A	ロビーや和室を最大限活用したり、自主事業や、多種多様なイベント・コンサートを開催したりすることも含め、催し物の増加を図り、市民が芸術文化に触れる機会を増やすように努めてください。
13	各種調査資料の展示・公開	4.0	A	専門職員を配置できない状況の中ですが、マニュアルやガイドラインを上手く活用しながら、相馬市の宝である文化財を次世代に遺すための資料の管理を行ってください。各種研修会を通じて研鑽に努めてください。また、相馬市歴史資料収蔵館の収蔵物を市民に広く紹介するためデジタルアーカイブの更新と鮮明な画像の提供をお願いします。
14	スポーツ施設の維持管理と利活用の促進	4.3	A	交流人口拡大のために、各種大会や合宿の誘致・PRについて、商工観光課や宿泊施設との連携強化に努めてください。また、市民向けの利用案内の促進や、スポーツ教室の開催・紹介、スポーツ大会等への支援等を通して、より多くの市民がスポーツ活動に親しめるよう取り組んでください。
15	ごみの減量化、再資源化	4.4	A	SDGsの観点から、ごみの減量、分別、そして再資源化は重要な課題です。食品ロス問題とも併せて、子どもから大人まで市民一人ひとりが意識を持って取り組むべき課題であります。市民と一体となった取組となるよう、意識向上のための啓発活動を引き続きお願いします。
16	ホールボディカウンターによる内部被ばく検査（外部被ばく線量検査、内部被ばく検査の継続）	4.2	A	東日本大震災より十年以上が経過し、市民の関心が低下しているかと思われますが、市民の安心の担保と健康管理のため、事業の継続をお願いします。検査結果は将来的に貴重なデータとなるため、より多くの人に受診していただき、継続的な管理に努めてください。
17	高齢者を対象とした介護職員初任者研修の推進（高齢者のいきがいづくりの推進（高齢者が活躍できる機会の創出））	3.9	B	高齢化社会の問題として挙げられる家族の介護への備えとしても有意義な事業です。高齢者の社会参画を促すために、幅広い機会の提供に努めてください。高齢者は交通手段を持っていない方も多く、研修参加の妨げになっている可能性があります。現状把握と対策をお願いします。
18	特定健康診査事業（保健事業の推進）	4.1	A	市民の健康維持や医療費削減のため、自分の健康は自分で守るという啓発活動を押し進め、未受診者の理由の分析・対策をするなど、受診率向上に努めてください。特に、女性に比べて低くなっている男性の受診率を上げるための取組を推進してください。
19	骨太けんこう体操の普及啓発による介護予防事業の推進（適切な介護サービスの提供）	4.1	A	骨太けんこう体操が介護予防の効果があることの検証とPRを行い、参加者を増やすよう努めてください。今後増加する高齢者の介護予防のため、体操のパリエーションを増やすことや、認知症予防の為に脳トレの導入などを検討してください。